

# 出雲力を活かして、さらに「前へ」!!



## 市長プロフィール

いつか としゆき  
**飯塚 俊之**

昭和40年10月4日生まれ(59歳)

出雲市出身

### ■経歴

明治大学経営学部卒業

平成15年 雲州わがとこテレビ創業

平成21年 4月から令和3年4月まで

出雲市議会議員を3期12年務める

令和3年4月 出雲市長就任

令和7年4月 出雲市長2期目

この度、出雲市長として2期目の市政のかじ取りを担わせていただくことになりました。これまでの4年間、さまざまな形で市政運営にご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。

出雲市17万市民の信頼と期待に応える、その使命と責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。市民の皆さまの声に耳を傾け、その思いをしっかりと受け止めながら、ふるさと出雲のさらなる発展に向け、引き続き全身全霊を捧げて市政運営にあたってまいります。

本年3月に市制施行20周年の節目を迎えた出雲市は、豊かな自然と多くの歴史文化遺産に恵まれ、農業産出額、工業製品出荷額及び観光入込客数がともに県内1位であるなど各産業がバランスよく発展したまちです。また、県内有数の高度医療機関が集積するほか、商業施設、スポーツ・文化施設などの都市機能も充実しており、可能性に満ちた活力あふれるまちと自負しています。1期目に策定した市の最上位計画である総合振興計画「出雲新話2030」では、こうした本市の強みである総合力を「出雲力」と

表現し、「出雲力」をフル活用したまちづくりを進めてきました。

一方、全国的に大きな課題となっている人口減少、少子高齢化の進行は、本市においても地域の経済活動、地域コミュニティの維持をはじめ、あらゆる面において影響を及ぼしています。また、近年、頻発する自然災害等への対策は、市民の安全安心な暮らしを脅かす喫緊の課題となっています。

今後4年間の市政運営にあたっては、こうした課題を克服し、2030年の目標人口17万人台キープと本市の将来像である「出雲力で夢☆未来へつなげ誰もが笑顔になれるまち」を実現するため、多様な知見やノウハウを有する民間事業者等と連携しながら、今年度が初年度となる「出雲新話2030」後期基本計画に掲げる施策を着実に実行してまいります。

先人から受け継いだ出雲市を守り、育て、次世代にしっかりと引き継いでいくため、私が先頭に立って、市政をさらに「前へ」進めてまいります。

皆さまの一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

出雲市長 飯塚 俊之

# 出雲市の挑戦!

チャレンジ



出雲市は、市の最上位計画である総合振興計画「出雲新話2030」に定める、まちづくりの将来像『「出雲力」で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち』の実現に向け、「みんなが活躍する」「地域の魅力を生かした」「持続可能な」まちづくりの取組を進めています。

取組にあたっては、総合振興計画の後期基本計画(令和7年度～令和11年度)をはじめ各分野の個別計画において目標を定め、各種施策を通して、目標達成に挑戦しています。

「出雲新話2030」  
基本構想▶



「出雲新話2030」  
基本計画▶



## 各計画に定める主な目標

### 2030年に人口17万人台キープ

(出雲市総合振興計画「出雲新話2030」)

2030年の推計人口  
168,061人

17万人台  
キープへ

今後5年間(令和7年度(2025)～令和11年度(2029))で

**雇用創出** 1,250人(実績R2～R5 1,465人)

**社会増(転入者-転出者)** 2,000人(実績R2～R5 1,209人)

**出生数** 8,000人(実績R2～R5 5,460人)

市民満足度調査

**出雲市が「住みやすいと感じる人の割合」90%**(実績R5 89.1%)

(出雲市デジタル田園都市構想総合戦略)



令和12年(2030)までに

**CO<sub>2</sub>排出量46%削減**(平成25年度比)(実績H25～R3 15.6%削減)

(出雲市環境総合計画)



令和11年(2029)に

**観光入込客延べ数** 1,440万人(実績R5 1,209万人)

**宿泊客延べ数** 100万人(実績R5 84万人)

**観光消費額**(市来訪者の県内消費額) 663.6億円(実績R5 535.5億円)

(出雲市観光基本計画)



令和11年(2029)に

**市民の健康寿命**(平均自立期間)

**1年延伸**(実績R5 男性0.89年 女性0.75年)

(出雲市健康のまちづくり基本計画)

